

# 政策名「宇宙政策」

## 施策名「宇宙開発利用に関する施策の推進」

解決すべき  
問題・課題

我が国の安全保障や経済社会における宇宙システムの役割が大きくなっており、こうした中、宇宙活動は従来の官主導から官民共創の時代を迎えている。宇宙は科学技術のフロンティアとして、また、経済成長の推進力としてますますその重要性を増している、

他方、宇宙空間の脅威の増大により宇宙安全保障は喫緊の課題となり、小型・超小型衛星コンステレーションの構築が進み、宇宙産業にはゲームチェンジが起こりつつある。我が国の宇宙機器産業はこの動きに遅れを取りつつあり、関連技術も急速に進歩する中、我が国が戦後構築してきた宇宙活動の自立性を維持していくためには、産業・科学技術基盤の再強化は待ったなしの課題。

宇宙の大きな可能性と、現在我が国が直面している厳しい状況を認識し、官民の連携を図りつつ、予算を含む必要な資源を十分に確保し、これを効果的かつ効率的に活用して、政府を挙げて宇宙政策を強化する。

### 事業の概要

(アクティビティ)

### 活動実績

(アウトプット)

### 中目標

(第1段階アウトカム・第2段階アウトカム)

### 施策目標

(最終アウトカム)

準天頂衛星システムの開発・整備・運用

【インプット】  
・実用準天頂衛星運用等経費：3.6億円  
・実用準天頂衛星製作等経費：187.1億円  
・実用準天頂衛星維持管理運営経費：76.6億円

衛星データの利用拡大に向けた調査研究等の実施

【インプット】  
調査委託費：4.3億円

宇宙二法（宇宙活動法、リモセン法）の着実な執行

準天頂衛星システムの着実な運用及び2023年度めどりの7機体制確立に向けた開発の推進

【測定指標】  
・利用可能な準天頂衛星の数

・宇宙をキーワードとした民間企業、自治体等の連携を促進  
・新たな宇宙ビジネスの事業化支援や衛星データ利用のモデル実証支援を実施

【測定指標】  
・衛星データ利用のモデル実証支援数

・宇宙活動法に基づき打上げの許認可を実施  
・リモセン法に基づき、リモートセンシングデータの取扱いの許認可を実施

持続測位能力の向上等により、産業の国際競争力強化、産業・生活・行政の高度化・効率化、アジア太平洋地域への貢献と我が国プレゼンスの向上、日米協力の強化及び災害対応能力の向上等広義の安全保障に貢献

【測定指標】  
・位置の認識・標定及び時刻同期の能力の自立性の確保  
・大規模災害時にも、災害情報の配信、被災者情報等の収集を行うシステムの着実な運用

国内の宇宙産業の裾野が広がり、宇宙利用が拡大

宇宙活動に必要な要件が明確化されること等により、事業者の予見性が確保されることで、宇宙産業の健全な発展に寄与する

(1) 宇宙安全保障の確保

(2) 災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献

(3) 宇宙科学・探査による新たな知の創造

(4) 宇宙を推進力とする経済成長とイノベーション

【測定指標】  
・宇宙産業市場規模

(5) 産業・科学技術基盤を始めとする我が国の宇宙活動を支える総合的基盤の強化

宇宙基本計画に基づいた取組を進め、基盤強化と利用拡大の好循環を実現する、自立的な宇宙利用大国となる

第2段階アウトカムは、宇宙基本計画で定められた我が国の宇宙政策の目標を列挙。

※予算等は令和2年度のもの

※宇宙開発戦略推進事務局は別途、宇宙政策の司令塔として、関係省庁の総合調整、成果の共有等を実施

※JAXAは政府全体の宇宙開発利用を技術で支える中核的実施機関として、中期目標に基づき研究開発等を実施